

日本語用論学会

日本語用論学会第5回(2002年度)大会プログラム

日時 2002年12月7日(土)

会場 関西外国語大学・中宮キャンパス・教室棟1号館1階

〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16番1号

TEL 072-805-2801(代表) FAX 072-805-2890 <http://www.kansaiidai.ac.jp>

大会受付 9:00~[教室棟1号館1階入り口] 書籍展示(10:00~18:00)[1号館1109教室]

ワークショップ (10:00~11:40)

A室[教室棟1号館1階1106教室] 「構文研究：語用論からの提言」

司会 杉本 孝司 (大阪外国語大学)

1. 「wear + 色彩目的語 + to + 出来事名詞」の解釈 吉田 幸治 (近畿大学)
2. 条件節と過去時制の共起関係 新井 永修 (仁愛高等学校)
3. 定性表現の談話機能—存在文の定性制限に着目して— 大川 裕也 (大阪大学大学院)
4. テモ文とその理解 堀内 夕子 (関西外国語大学大学院)

B室[教室棟1号館1階1104教室] 「言語使用に見られる意味分析と解釈原理」

司会 東森 勲 (龍谷大学)

1. 接続詞 as の非従属化現象について 田中 美和子 (関西外国語大学大学院)
2. be possible that 節に見られる法助動詞の主観性と客観性
—視点とモダリティ— 岡本 芳和 (大阪産業大学非常勤講師)
3. 関連性理論による人称代名詞の一考察 松崎 由記 (学習院大学大学院)
4. 日本語の引用—時間ダイクシスを中心に— 高橋 真弓 (関西外国語大学大学院)

C室[教室棟1号館1階1103教室] 「談話における言語の意味と機能をめぐって」

司会 林 宅男 (桃山学院大学)

1. William Faulkner の短編小説における understatement の効果—関連性理論を用いた文体論の試み 松岡 信哉 (龍谷大学)
2. タイ人の日本語学習者による終助詞「けど」の使用について
夫 明美 (東北大学助手) / セナ・クワンチラー (東北大学大学院)
3. 談話標識—読解過程の観点から— 小谷 克則 (関西外国語大学大学院 / 独立行政法人通信総合研究所けいはんな情報通信融合研究センター特別研究員)
4. Natural Semantic Metalanguage Theory and Some Italian Speech Act Verbs
Brigid Maher (Australian National University)

D室[教室棟1号館1階1102教室]

「コミュニケーションにおける効果的な言語使用の解明をめざして」

司会 林 礼子 (甲南女子大学)

1. 新聞コーパスにおける判断文に対する根拠の提示について 竹内 和広
(独立行政法人通信総合研究所けいはんな情報通信融合研究センター専攻研究員)
2. Linguistic Marketing の研究—ファッション販売の対話分析—
坂本 和子 (横浜国立大学大学院 / NEC)
3. アメリカ大統領就任演説のレトリック—文脈想定と文脈効果の観点から—
中村 秩祥子 (龍谷大学大学院)
4. 日本人の意見表明について—新聞のインタビュー記事から—
井波 真弓 (拓殖大学非常勤講師)

総会 (12:30~12:50) [教室棟 1号館 1階 1105 教室] 司会 田中廣明(関西外国語大学)

1. 会長挨拶 小泉 保 (関西外国語大学)
2. 事務局長報告 澤田 治美 (関西外国語大学)
3. 編集委員会報告 高原 脩 (関西外国語大学)
4. 会計報告 田中 廣明 (関西外国語大学)
5. その他

研究発表 (13:00~15:30)

1. 13:00~13:35
2. 13:35~14:10
3. 14:20~14:55
4. 14:55~15:30

A室[教室棟 1号館 1階 1106 教室] 司会 田中 廣明 (関西外国語大学)

1. if 節中の should と must について 長友 俊一郎 (関西外国語大学大学院)
2. Missing complement に関する一考察 井上 徹 (常盤大学)
(10分休憩)
司会 加藤 克美 (関西外国語大学)
3. If not 構文に関する一考察—多義性と文脈的既知性の関係をめぐって—
澤田 治 (早稲田大学大学院)
4. 'I don't believe/think'に後続する補文標識 that の顕現と省略について
森 貞 (福井工業高等専門学校)

B室[教室棟 1号館 1階 1104 教室] 司会 山崎 英一 (四天王寺国際仏教大学)

1. 同時通訳における動詞をめぐる語順差—関連性の視点からの一考察—
南津 佳広 (大阪府立大学大学院)
2. 直喩における類似性の創造による彩 黒川 尚彦 (大阪大学大学院)
(10分休憩)
司会 加藤 雅啓 (上越教育大学)
3. Tautology の考察—ad hoc 概念を使って 西川 眞由美 (奈良女子大学大学院)
4. 「やはり」/「やっぱり」と関連性 武内 道子 (神奈川大学)

C室[教室棟 1号館 1階 1103 教室] 司会 伊藤 克敏 (神奈川大学)

1. 一貫性と談話の適確性 海寶 康臣 (立命館大学研究生)
2. 描写構文についての一考察 松本 知子 (同志社女子大学非常勤講師)
(10分休憩)
司会 菅山 謙正 (神戸市外国語大学)
3. アイロニーの暗黙的提示理論とその優位性について 内海 彰 (電気通信大学)
4. 尺度の推意をめぐる 山本英一 (関西大学)

D室[教室棟 1号館 1階 1102 教室] 司会 井上 逸兵 (慶應義塾大学)

1. コミュニケーションギャップの実証的研究—謙遜表現を中心として—
寺田 千恵 (神戸大学大学院)
2. 痛感覚表現の日英比較：類似と差異 堀 素子 (関西外国語大学)
(10分休憩)
司会 余 維 (関西外国語大学)
3. 使役受身文の一考察 趙 順文 (台湾大学日本語文学系教授)
4. 日本語の主題文について—その形成原理と構造を中心に—
陳 訪澤 (広東外語外貿大学教授・神戸女学院大学研究員)

(e-Hotel: 旅行・ビジネスに安心便利なホテル予約サイト)/ <http://www2.tabitama.co.jp/index.html>
 (旅のたまご: 旅行情報総合サイト)

◇**会費**は、現会員（新入会員も含む）の場合は4,000円、当日会員は3,000円です。受付でお払い下さい。なお、現会員の方はなるべく、同封の振替用紙にて前もってお払い下さい。なお、受付でハンドアウト集『Program & Abstracts2002』（1,000円）（ワークショップ、研究発表、シンポジウムのハンドアウトがすべて載っております）をお買い求め下さい。また、現会員、新入会員の方には今年度の学会誌『語用論研究』第4号（当日会員の方のみ1,500円いただきます）をお渡しします。なお、昨年度の学会誌『語用論研究』第3号（1,500円）、昨年度のハンドアウト集『Program & Abstracts2001』（1,000円）も販売しております。それ以前の号は売り切れとなりましたので、ご了承下さい。

◇**昼食**は、学内の食堂があります。本学会では、当日のお弁当は手配いたしていませんので、ご注意下さい。午前中から参加される方は、大学の構内には食堂は主に2箇所あります。大学周辺にも近隣に数箇所ありますが、当日は時間的制限もありますので、構内の食堂で食べられるほうがいいかもしれません。大学の構内では、厚生会館北館（学生食堂（1F第1食堂、2F第2食堂）、シアトルベストコーヒー（1F）、マクドナルド（1F）、コンビニエンスストア（2F）、洋書の丸善（3F）、銀行のCD機など（1F）など、すべて揃っています。ただし、厚生北館2Fの教職員食堂は、外部の方はご利用できませんのでご注意下さい。また、厚生南館（第3食堂、1号館の裏になります）も大きい食堂です。なお、本学は土曜日にも授業があります。午前中は他教室を使用していますのでご了承下さい。

◇**休憩室（一般会員控え室）**を1号館1階1108教室に設けております。休憩時間の飲み物、昼食等はこの部屋をご利用下さい。1号館に入ったところには、第1学生ラウンジに、自動販売機もありますので、ご利用ください。

◇**書籍展示・販売**を1号館1109教室で行っています。

◇本学は、**全館禁煙**となっております。喫煙場所も数カ所ありますので、ご協力下さい。

◇大会本部は、1号館1階の事務局分室です。



開催校委員：澤田治美、田中廣明

大会実行委員：小泉保、澤田治美、田中廣明、高原脩、児玉徳美、東森勲、山梨正明、林宅男、林礼子、杉本孝司、内田聖二、西光義弘、金水敏、久保進

学会事務局：会長 小泉保 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1 関西外国語大学
 澤田治美研究室 TEL072-805-2801（代表）E-mail: tanaka@kansai.ac.jp（田中廣明宛）

URL: <http://www2.justnet.ne.jp/~hiro-tanaka/index.htm>

郵便振替口座 00900-3-130378 口座名: 日本語用論学会

